日本ビオトープ協会

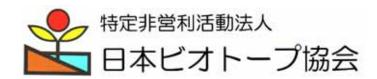
2018

ビオトープ_{No.41}

特集「生態系インフラを活用したまちづくり」



エゾシカの群れ (北海道野付郡別海町 野付半島) 写真 内海 千樫 氏 提供



> •								頁
巻頭言								
持続可能(SU	STAII	NABLE) た	生態系	インフラ				
					野澤 日出	法 · · · · · ·	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	••• 1
特別寄稿								
COP10以降の愛知県の生物多様性保全の取組について 〜生態系ネットワークの形成と愛知目標達成への貢献〜								
~生態系ネット	ワーク	の形成と愛	知目標達	成への貢		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		2
ᄼᅩᆚᅜᅑᆡᆉᆛ	4 F 🛶	۰	7	· **				
台北科技大学	<u>-</u> 1 ⊥ □	キャンハ	人」へ の;	旦 程	蔡 仁惠			6
`	<u> </u>							
シリーズ連載	k							
ビオト―プのいきものたち ―その27― ビオト―プと外来生物 神垣 健司 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								4.0
					神坦 健司			• 12
会員·BA等投	沒稿							
ビオトープ×在来種養蜂 その可能性について								
					藤原 愛弓	•••••	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• 14
イラクサに育っ	つ蝶達							
					内海 千樫	<u> </u>		• 16
鳥が運ぶタネを活かした生物多様性保全の取り組み								
ーダイキン滋賀	の森に	おける従業	美員主体 σ)森づくり・				
					濵田 知宏			• 18
協会活動状況	₹							
各地区委員会	€〈8地	区〉活動	計画•報	告等				
/木邨 松和道	`. ++ . ·	~ 却生						

/ 本部 め 知りで し 報 古

各地区委員長/協会事務局 · · · · 20

連載コラム

「ビオトープを知る、五つのヒント」 その2 指標生物: 少数派を守れ

立川 周二 ………24

◇表紙・裏表紙写真の説明◇

本号の表紙写真は、裏表紙写真ともに、幌加内町の内海千樫氏がご自宅の ビオトープ、他で撮りためてきた生き物写真の中からご提供頂きました。

- ・表紙:天敵のエゾオオカミが絶滅して、エゾシカが増えています。雪の少な い野付半島は格好の越冬場所になっています。
- ・裏表紙:大津海岸は十勝川で結氷して風で打ち上げられた氷でいっぱいに なります。流氷と違い透明でキラキラと光ります。
- ◇内海千樫氏:北海 道幌加内ビオトープ研究会代表、日本ビオトープ協会 会員。1978年より幌加内町在住。現在、北海道ネーチャーマガジン「モー リー」(北海道新聞社)で「アオサギの悲哀」を連載中。2017年6月に写真集 「蒼鷺」(共同文化社)が出版されました。動物写真家であり、動植物・昆虫な どの写真撮影を通じて、その生態観察は欠かせず長年研究を続けてこられ、 ビオトープに地道に取り組んでおられます。

